

1. 件名：廃炉中長期プラン・中期的リスクの低減目標マップの進捗状況に係る面談
2. 日時：令和6年1月19日（金）16時00分～17時45分
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者：
原子力規制庁
原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
大辻管理官補佐、森審査班長、石井安全審査官、元嶋専門職、高橋係員
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
プロジェクトマネジメント室 6名（テレビ会議システムによる出席）
福島第一原子力発電所 9名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨：

- 原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、資料等に基づき以下について説明を受けた。
 - 廃炉中長期プランの改定の見込み
 - 中期的リスクの低減目標マップ（2023年3月版）の進捗状況（遅延が見込まれる項目、工程精査中の項目）
 - ✓ 除染装置スラッジの回収について、閉じ込め機能に係る設計等の検討を進めている段階であり、現在工程精査中。
 - ✓ 1号機原子炉建屋カバーについて、建屋外壁のホットスポットへの遮蔽対策等の影響により、設置完了が2025年度に遅延する。
 - ✓ 1/3号機のS/C水位の低下について、1号機については予定どおり2023年度中に開始予定。3号機については、滞留ガスのパージ作業等に時間を要するため、2024年度に遅延する見込み。
 - ✓ 大型廃棄物保管庫第一棟について、建屋耐震補強工事を一気に通貫で行う形に工程を変更する。当該変更により、吸着塔受入開始時期は2025年度に遅延するが、結果的に吸着塔の屋内保管完了は従前より早まる見込み。また、大型廃棄物保管庫第二棟については、2031～2032年度の運用開始を目標に検討を進める。
- 原子力規制庁は、上記の内容を確認するとともに、以下のとおりコメントした。
 - 除染装置スラッジの回収について、次回の特定原子力施設監視・評価検討会までに精査した工程について示せるよう、引き続き必要な検討を進めること。
 - 1/3号機のS/C水位の低下について、具体的な手順・監視項目等の作業の詳細を作業着手前までに整理した上で説明すること。
 - 大型廃棄物保管庫第一棟の建屋補強、吸着塔保管架台に係る実施計画の変更認可申請について、審査期間を十分に確保できるよう、速やかに申請を行う等必要な対応を行うこと。
- 東京電力から、原子力規制庁からのコメントについて検討の上、対応が必要なものについては、適切に対応する旨回答があった。

6. 資料

- 廃炉中長期実行プラン2023
- 廃炉中長期実行プラン2023（工程表）
- 第110回特定原子力施設監視・評価検討会 資料3-1-1 『東京電力福島第一原子力発電所の中期的リスクの低減目標マップ（2023年3月版）』の進捗状況について
- 第110回特定原子力施設監視・評価検討会 資料3-1-3 除染装置スラッジ回収装置の進捗状況について

- 第 110 回特定原子力施設監視・評価検討会 資料 3-1-4 1 号機原子炉建屋南面外壁に確認されたホットスポットとその対策について
- 第 110 回特定原子力施設監視・評価検討会 資料 3-1-5 1・3号機 S/C 水位低下に向けた取り組み状況
- 大型廃棄物保管庫の工程変更について